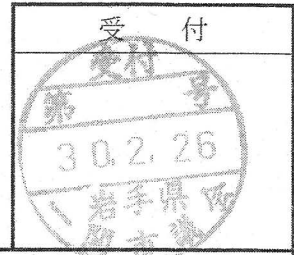


# 調査研究等事業報告書 (会派用)

一関市議会議長 槻山 隆 様



|                  |  |   |             |
|------------------|--|---|-------------|
| 報告年月日            | 平成30年2月26日   |   |             |
| 実施日(期間)          | 平成30年1月30日～平成30年2月1日   |   |             |
| 実施場所<br>(行先等)    | 沖縄県国頭郡恩納村役場、沖縄科学技術大学院大学<br><br>名護市沖縄工業高等専門学校   |   |             |
| 事業区分<br>(いずれかに○) | 研 修  | ○ 調査研究                                    | 要望・陳情活動 会 議 |
| 事業内容             | ① 恩納村<br>沖縄科学技術大学院大学開学への取り組みについて<br>② 沖縄科学技術大学院大学(OIST)<br>沖縄科学技術大学院大学開学への取り組みについて<br>③ 沖縄工業高等専門学校<br>衝撃波破碎技術を活用した装置による漆の量産化について |   |             |
| 報告者              | (会派名) 清和会  | (代表者) 勝浦 伸行                               |             |
| 参加者              | 議員 沼倉憲二<br>議員 佐藤雅子<br>議員 門馬 功<br>議員 勝浦伸行   | 議員 小山雄幸<br>議員 佐々木久助<br>議員 千田恭平<br>議員 佐藤 浩 |             |
| 報告要旨             | 1. 目的・・・・・・・・別紙のとおり<br>2. 概要・・・・・・・・別紙のとおり<br>3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙のとおり  |   |             |
| 主要<br>資料名        | _____<br>_____<br>_____<br>_____   |   |             |

## 別紙

### ①恩納村

1. 目的：沖縄科学技術大学院大学開学への取り組みについて
2. 概要
  - ・メインキャンパス施設用地について、恩納村有地と無償使用賃貸借契約。
  - ・開学後は、確実に村県民税、固定資産税、観光施設への波及効果増加。
  - ・周辺整備の事業計画の積み残しがある。
  - ・二次的経済波及効果が生まれていない。(キャンパス内で完結している)
  - ・内閣府主導の大学院大学である。
  - ・周辺環境整備やソフト対策に直接的な財政支援がない。
3. 所感
  - ・ILC について、国や県との事業区分や負担割合を綿密に詰めるべき。
  - ・ILC 誘致が実現すれば「全てバラ色」ではない。

### ②沖縄科学技術大学院大学 (OIST)

1. 目的：ILC 誘致を見据え、受け入れ地方自治体としての取り組み、並びに、国際機関としての運営を学ぶ。
2. 概要
  - ・世界最高水準の教育と研究を目指す OIST が 2012 年に開学した。
  - ・内閣府直結の機関であり、世界中から研究者が集まっている。
  - ・大学の概要の説明を受け、国際研究機関と地元住民との関わり方などを学んだ。
3. 所感
  - ・施設は現在も拡張工事中であり、時間の経過とともに完成度が高まる施設となる。

### ③ 沖縄工業高等専門学校

1. 目的：衝撃波破碎技術を活用した、国産漆の量産を目指す機械装置の実演と技術の説明を受けた。
2. 概要
  - ・同校 3 か年の開発研究で製作された同装置で実演され、伝統技法の漆掻きに対し、破碎する方法が生育期間も短い樹木からも採取することができるなど生産効率が優れていることが分かった。
  - ・アロマオイルなど新たな産業 (商品) 開発に繋がることを学んだ。
3. 所感
  - ・農林水産省みらい基金の補助採択を受け、大東地域において事業をスタートした漆産業の発展の可能性と雇用、地域の活性化に貢献が大であり、市の対応を検討すべきである。